

# みやざき 県議会の動き

No.77

2

2021

令和3年2月1日発行  
宮崎県議会広報紙/年6回偶数月発行

## 11月定例県議会



古代衣装着用で、  
記紀編さん1300年をアピール

### 11月定例県議会の概要

11月定例県議会は、11月20日から12月9日までの20日間にわたって開催され、17名の議員が一般質問を行い、県政全般の幅広い分野にわたり活発な議論が展開されました。また、常任委員会及び特別委員会が開かれ、付託された議案・請願の審査や所管事項の調査なども行われました。

この結果、知事提出議案については、「令和2年度宮崎県一般会計補正予算(第10号)」など33件を原案のとおり可決(又は同意)しました。

また、請願については2件を採択し、議員発議案については意見書3件を可決しました。

さらに、今回は、令和2年12月27日をもって任期満了を迎える選挙管理委員4名及び同補充員4名の選挙を実施しました。

#### 可決(同意)された主な知事提出議案

- 令和2年度宮崎県一般会計補正予算(第10号)補正予算では、約99億円の増額補正(うち新型コロナウイルス感染症対策は約76億円)が行われ、その結果、一般会計の予算規模は、約7,029億円(うち新型コロナウイルス感染症対策は約671億円)となりました。
- 収用委員会委員の任命の同意について

#### 採択された請願

- 高等学校における演劇鑑賞教室実施に関する請願
- 臨床研修を継続するための財政支援についての請願

#### 可決された意見書

- 小規模事業者に対する支援及び商工会の拡充・強化に関する意見書
- 日米地位協定の抜本の見直しを求める意見書
- 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

## 一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。

一般質問の様子は、県議会のホームページの議会中継(録画)でご覧いただけます。



た 田 雄 二  
宮崎県議会議員  
宮崎県連合宮崎延岡市選出

問 地域枠の見直しの内容と効果、キャリア形成プログラムの概要について伺う。

答 福祉保健部長 令和4年度より全国公募枠の新設と、定員40名への増員により、県内高校生の受験機会の拡大、全国からの人材確保を図る。プログラムは県内での9年間勤務のうち、4年間医師少数区域等で勤務することから、若手医師の確保に直結する。と考える。



さ かも ち ひろ 美  
坂 口 博 美  
宮崎県議会自由民主党  
児湯郡選出

問 コロナ後を見据えた本県の将来像について、県総合計画を見直すべきではないか。

答 知事 ポストコロナへの確かな対応を行うため、総合計画における将来像を示すことができるよう見直し作業に早急に着手するとともに、地域や人のゆたかな絆の中で、誰もが夢や希望を持って生き生きと活動できる社会の実現を目指して全力で取り組んでいく。

※1...3面の「用語解説」をご参照ください。



野崎 幸士  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎県選出

※2 高収益作物次期作支援交付金について

問 運用見直しへの農家の不安の声や質問に対して県の対応状況を伺いたい。

答 農政水産部長 混乱した事態の收拾等を図るため、国に対し知事会等を通じて提案や要望を行い、追加措置等の見直しがあった。県では、国による農家説明会や申請受付で、個別相談や事務サポートを行っている。今後とも国の動き等も把握しながら農家を支援したい。



野崎 哲也  
宮崎県議会自由民主党  
延岡市選出

介護ロボット導入支援事業について

問 予算の更なる拡充が必要だが、県の考えを伺いたい。  
答 福祉保健部長 見守り機器の導入により部屋の巡回を効率的に行えたり、高齢者を抱え上げるリフトの導入により腰への負担が軽減されたりするなど、労働環境の改善のほか、若者等への介護の魅力発信にもつながる重要な事業と認識している。国の予算編成の状況を注視してまいりたい。



山下 浩  
宮崎県議会自由民主党  
児湯郡選出

県立宮崎病院の停電について

問 県立宮崎病院が停電し、全ての医療機能の復旧確認までに約1日の時間を要したが、患者への影響は。

答 病院局長 170名の入院外来患者に診察や検査、手術の延期等で大きな影響が生じた。この中には手術を中断し、後日再手術した入院患者2名も含まれており、患者や家族に大きな不安や負担を掛け、大変申し訳なく思う。



水本 淳一  
宮崎県議会自由民主党  
都城市選出

少人数学級の推進について

問 児童生徒へのきめ細かな指導のために、さらなる少人数学級の推進が必要と思うが、県の考えを伺う。  
答 教育長 子どもの多様化が進む学校現場では、少人数学級の推進・拡充は必要だと認識しており、本県でも様々な取組を行っている。一方で拡充にあたり、人件費や施設整備の財源確保等の課題もあるため、今後も国に強く要望していく。



田村 浩一  
宮崎県議会自由民主党  
串間市選出

かんしよ基腐病への対応について

問 かんしよ産地の再生に向けて副知事の所感を伺いたい。

答 郡司副知事 基腐病の発生以来、その影響の深刻さと生産者の苦悩を痛感してきた。健全苗の確保や防除体系の見直し等あらゆる対策を講じる中で、何としても克服しなければならぬと強く決意しており、生産者と一丸となって産地の再生に全力で取り組む。



安田 厚生  
宮崎県議会自由民主党  
東臼杵郡選出

県立延岡病院へのドクター導入について

問 ドクター導入を予定しているが、入郷地域の町村とどのように連携するのか。  
答 病院局長 町村とは途中で患者を引き継ぐため、患者搬送の負担軽減等につながる。4月の運行開始に向け地元市町村等と運用方法を協議しており、こうした取組を通じて、延岡病院と地元市町村との一層の連携強化を進め、救急医療、地域医療の充実に努めたい。



松崎 次郎  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎市選出

県庁PFI方式の採用について

問 PFI方式を採用するメリットについて伺いたい。

答 総合政策部長 設計・建設の段階から運営を見据えた最適な施設整備が可能となることから、コスト削減のほか、企業の有するノウハウにより、一般の方から競技者まで、きめ細かなサービスの提供が可能となる。また、事業者独自の魅力ある取組により、利用促進や県民サービスの向上が期待できる。



谷 梨子  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎市選出

将来の介護人材確保について

問 中学生に介護ロボットを知ってもらうことは重要だと思うが、県の考えは。  
答 福祉保健部長 小中学生対象の介護体験では、ロボットによる負担軽減で介護の大変なイメージが変わったとの感想もあった。中学生がこれらの最先端機器に触れることは、介護の仕事に目を向ける契機にもなるため、体験等を通じて魅力を発信し人材確保に努める。



井上 紀代子  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎市選出

デジタル化の推進について

問 デジタル化にどう取り組むのか伺いたい。

答 知事 国はマイナンバーカードの普及促進など、かつてないスピード感でデジタル化を進めようとしているが、この流れを本県が更に飛躍する大きなチャンスとして捉え、国や市町村とも十分連携しながら、県民誰もが安全・安心で、豊かさを実感できるデジタル社会の実現を目指したい。



渡辺 創  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎市選出

ヤングケアラーについて

問 独自調査で、県内高校の約半数が当該生徒の存在を認識する等、様々な実態が判明した。これを踏まえ、この問題をどう考えるか。  
答 知事 子どもの成長や学び、進路等への影響が懸念され、大変重要な問題と認識している。今後、社会全体で認識を持ち、支援することが重要であり、子どもの最善の利益が実現できるよう取り組んでいきたい。



内田 理佐  
宮崎県議会自由民主党  
延岡市選出

文化芸術振興条例について

問 記編さん記念事業などの成果を未来に引き継ぐため、条例を制定する考えは。

答 知事 これまでの取組を契機にした県民による文化芸術活動の盛り上がりや未来に引き継ぐには、その活動を支え、そこから生み出される価値を様々な分野に生かすことが重要。この理念の共有、基本的施策の明示は有意義なため、条例制定について検討したい。



やしき 美実  
日本共産党宮崎県議会議員  
宮崎市選出

感染症対策とゆとりある少人数学級を

問 コロナ禍の下、少人数学級の実現がより急がれており、教員の確保は不可欠。長時間労働の是正、処遇改善と正規化、教員免許更新制の廃止などが求められるが、少人数学級の効果と教員確保についての考えは。  
答 教育長 感染症対策と きめ細かな指導の充実からも、少人数学級の必要性は高い。文部科学省に働きかけ、教職員定数改善等を強く要望した。

※2～※4…3面の「用語解説」をご参照ください。

# 常任委員会

11月定例県議会において付託された議案の審査等を行いました。

## 総務政策

### 公の施設の指定管理者の指定について

指定管理者制度の目的の一つである経費削減に向けて、今後、より一層の競争性の確保に向けて取り組むなど、指定管理者選定のあり方について、多角的に検討するよう求めました。

## 厚生

### 県立宮崎病院の停電について

病院機能の存続には、電源の確保は最も基本的なことから、点検・整備に係るマニュアルを再度見直し、非常時において的確に対応できる体制を整えるなど、再発防止に向けた取組を徹底するよう強く求めました。

## 商工建設

### 「みやざき学び旅」促進事業について

教育旅行の実施に係るバス費用等を支援する当事業については、県教育委員会や観光関連事業者と連携して、予算を確実に執行することで、コロナ禍における宿泊業や交通事業をはじめとする観光関連産業の活性化につなげるよう求めました。



## 環境農林水産

### 高病原性鳥インフルエンザへの対応について

鳥インフルエンザの発生は、畜産業のみならず、県内経済への影響も非常に大きいことから、原因をしっかりと究明するとともに、関係機関とより一層連携を強化しながら、防疫をさらに徹底するよう求めました。



## 文教警察企業

### 宮崎県学校教育計画懇話会「最終まとめ」について

この懇話会での検討結果を踏まえて、これから県教育委員会で次期県立高等学校教育整備方針をとりまとめることになるが、高等学校の配置については、慎重な議論を要する案件であると考えことから、県教育委員会における今後の協議結果について、適宜報告を行うよう求めました。

## 一般質問用語解説

#### ※1 キャリア形成プログラム

医師が不足している地域における医師の確保に資するとともに、当該地域に派遣される医師の能力の開発及び向上を図ることを目的に策定。対象医師は、原則9年間、県内で勤務し、うち4年間は医師少数区域等で勤務する。

#### ※2 高収益作物次期作支援交付金

新型コロナウイルスの影響による需要の減少により市場価格が低落するなどの影響を受けた野菜・花き・果樹・茶等について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援するため措置された交付金

#### ※3 PFI方式

Private Finance Initiativeの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う方式

#### ※4 ヤングケアラー

厚生労働省が市町村に対して行った実態調査においては、「年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家庭の介護やきょうだいの世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子ども」と定義している。

### 不妊治療対策について



にしむら せいし  
西村 賢  
議員  
宮崎県議会自由民主党  
日向市選出

**問** 不妊治療について、本県独自の対策はあるのか。  
**答** 福祉保健部長 男性不妊治療では過去に凍結・保存した精子の融解費用に1回につき最大5万円、妊娠後に流産・死産を繰り返す不育症の治療には1回の妊娠期間につき最大8万円を助成。さらに一般不妊治療費を助成する市町村には、その一部を補助し、昨年度は13市町村を対象としている。

### 農業経営収入保険の加入促進について



あり た てる  
横田 照夫  
議員  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎市選出

**問** 保険の更なる加入促進に向けた県の取組は。  
**答** 農政水産部長 リスクに備え多くの生産者が保険加入することが重要。「農業経営収入保険加入拡大重点対策事業」では制度の勉強会等を実施し、理解の醸成と集団加入の推進に努めている。次期農業長期計画でも危機事象に負けない営農体制の強化を施策の柱に位置づけ、環境作りに取り組む。

### 文化財レスキューについて



ありおか こういち  
有岡 浩一  
議員  
郷中の会  
宮崎市選出

**問** 文化財の被災に備え、未指定も含めた文化財の把握やレスキュー人材の育成について伺いたい。  
**答** 教育長 文化財の被災に備え、まずは市町村がその所在を把握するよう働きかけるとともに、実際に被災した場合に地域住民の方々の協力をいただけるよう、レスキュー活動に関する展覧会等を通して意識醸成等に努めている。

## 議長定例記者会見

11月定例会の閉会后、丸山議長と徳重副議長による議長定例記者会見を開催しました。会見では、丸山議長が、11月定例会の総括を述べるとともに、新型コロナウイルス感染症対策や日米共同訓練の基地内宿泊等について、活発な質疑応答が行われました。



## 若い世代に県議会を身近に感じてもらうための取組

県議会では、若者の投票率の向上や主権者教育等を目的として、関係機関と協力しながら、県内の高校生や大学生等に対し、県議会の役割や仕組み、県政の重要課題等への理解を深めてもらうために次のような取組を行っています。

### 県議会議員講座「こんにちは!県議会です」

当講座は、県議会議員が県内の高校や特別支援学校等に向いて、生徒の皆さんに議会の仕組みや議員の活動などについて、直接お話をする取組です。今年度は、右記2校の生徒の皆さんに受講していただきました。

講座では、写真や映像を交えた説明の後、生徒の皆さんと議員との質疑応答も行われました。質疑では、「本県の看護師不足についてどう考えるか」といった政策的なものや、「県議会議員として良かったことや苦労したことは何か」といった議員本人に対するものなど、数多くの質問が出され、議員は自身の議会活動や議員経験を踏まえながら、一つ一つ丁寧に回答しました。



【県立都農高等学校の様子】



【県立みやざき中央支援学校の様子】



### 宮崎大学との共同授業

令和2年11月10日には、宮崎大学の御協力をいただき、共同授業を初めて実施しました。内田理佐議員、田口雄二議員、重松幸次郎議員の3名が講師となり、「地方議会と大学生」をテーマとして、「議員の魅力・やりがい」、「地方議会・議員の使命」「大学生に伝えたいこと」などについて、トークセッションや学生との意見交換を行いました。

学生の皆さんからは、「県議会の活動と自分達の生活が密接に関わっていることが分かった」、「遠い存在と思っていた県議会議員や政治を身近に感じる事ができた」、「今後は積極的に政治や選挙に関わりたいし、周囲にも働きかけたい」などの感想があり、県議会の役割や議員の仕事への理解を深める有意義な機会となりました。



【宮崎大学との共同授業の様子】

## 議会傍聴・インターネット中継について

県議会では、新型コロナウイルス感染防止対策として、傍聴の際に、マスク着用や手指消毒、検温等へのご協力をお願いしております。

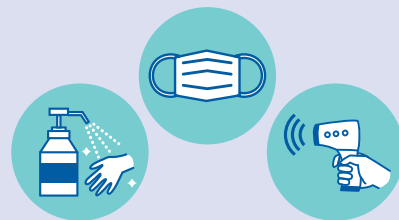
また、インターネットによる本会議の生中継や録画中継も行っており、パソコンやスマートフォン、タブレットでご覧いただけますので、是非ご活用ください。

### 傍聴に関する問い合わせ

県議会事務局総務課 ☎ 0985-26-7215

### インターネット中継に関する問い合わせ

県議会事務局政策調査課 ☎ 0985-26-7217



↑上のQRコードから県議会の中継サイト(右)にアクセスできます。

### 令和3年2月定例会のお知らせ

2月定例会は、2月18日から3月17日までの日程で開催される予定です。



宮崎県議会  
Miyazaki prefectural assembly



宮崎県議会  
公式フェイスブック



表紙の花 : ウメ (花言葉は、高潔・忠実)